

概要

上勝町(徳島県勝浦郡)は、太平洋に面した紀伊水道に流入する黒潮の影響を受ける温暖な四国の東端部に位置し、標高約100m から約 1,400m と急峻な地形でありながらも褶曲に富んだ地形を有し、深く刻まれた渓谷の流域にごくわずかな耕地が階段状に点在する棚田集落を形成している人口 2,000 人に満たない日本を代表する小さな町です。

日本では 1960 年頃から都市部への人口集積が進み、人口が減少した自治体の中には財政破綻するものもありましたが、上勝町は次々と独自の政策を進めることで有名になり、日本全国はもとより諸外国からの視察者も増えており、住民人口に対して 200 パーセントを超える視察者が訪れる環境の町として、日本で最も美しい村の一つに位置づけられました。

戦略

21 世紀は環境の世紀といわれ、地球上のあらゆる生物が、生命・種の持続的共生可能な地球環境を構築することが人類共通の課題だと捉え、21 世紀における上勝町の長期目標として、環境倫理に基づく『持続可能な地域社会づくり』を目指しています。これらは一朝一夕に解決できるものではなく、住民の十分な合意形成と地道で確実な取り組みが求められており、町の活動は行政全般にわたって幅広いものになっています。また、上勝町を含めた徳島県の環境政策では、「廃棄物ゼロとくしま」を唱え、2013 年までにリサイクル率の 10 パーセント向上と最終処分量の 32 パーセント減量を目指しており、温室効果ガス排出量は 2010 年に 1990 年比 10 パーセント削減に取り組んでいます。

1. 環境倫理に基づいた人づくり

町づくりは人づくりという理念のもと、住民の一人ひとりが問題意識を持ち、過疎化・高齢化による諸問題の解決、生活基盤整備や就業機会の確保を中心とした地域づくりの方策を進めています。具体的には1Q 運動会なる組織を作り、地域リーダーを養成し地域ごとに定めた目的の完成度を競うというもので、小さな自治体に不足するとされる人材の育成を図っています。

2. 環境負荷低減を目指したゼロ・ウェイスト宣言

地球にやさしい行政を目指して 2003 年 9 月 19 日、上勝町議会において次の通り宣言しました。

宣言文： 未来の子供たちにきれいな空気や美味しい水、豊かな大地を継承するため、2020 年までに上勝町のゴミをゼロにすることを決意し、上勝町ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)を宣言します。

- i 地球を汚さない人づくりに努めます！
- ii ごみの再利用・再資源化を進め、2020 年までに焼却・埋立処分を無くす最善の努力をします！
- iii 地球環境をよくするため、世界中に多くの仲間をつくります！

3. 新しい環境の世紀に挑む ～地球温暖化防止への取り組み～

現在取り組まれている地球温暖化防止への具体的な取り組みの代表的な項目をまとめると、次のようになります。

- ごみの 34 分別による資源化で焼却・埋立ごみの削減
- 木質チップボイラーの普及による CO2 の排出削減
- 「資源回収に関する法律(仮称)」制定を提言



日本の原風景と呼ばれる檜原の棚田



爽やかな五月の空に鯉のぼりが泳ぐ！



資源保護の象徴・34種のゴミ分別



木質チップボイラーでCO2 排出抑制

Photo Gallery ▶ [英語サイトへ](#)

<http://www.unep.org/ClimateNeutral/Default.aspx?tabid=1016>